

とうきょう すくわくプログラム



ふたば組（0歳児） 2月6日（第12回目） 3月6日（第13回目）

【活動内容】『水ってどんな音？』『水って揺れるの？』

・12回目では、ライトテーブルの上に、水を入れたアクリルボックスを用意し、水の動きや音をプロジェクターに映した活動を行いました。

・13回目では、水の振動に着目した活動を行いました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

・水・ライトテーブル・アクリルボックス・ジョウロ・食紅・プロジェクター・魚型のソース入れ・みえるもん・氷・水中ポンプ

【子ども達の姿と発見】

映像と本物の水の動きを見比べる姿がありました。また、水の流れや、食紅の色が水に混ざっていく様子をジッと見ている様子もありました。アクリルボックスを叩いてみて、水が動くことに気が付く子もいました。

アクリルボックスの中に、水と食紅や、魚型のソース入れを入れ、水中ポンプによる振動でどのように色が混ざるかを見ました。振動で魚型のソース入れが動いている様子を見たり、色が混ざっていく様子をジッと観察したりする様子がありました。

【まとめ】一年を通して感じたことは、身近にある水に触れてみるところから始まり、子どもたちの目線や、動作、水の動きや色等に混ざることへ興味を持つ姿が探求活動を進めていくうちに見られました。子どもたちの探求心は私たちの保育の幅を広げさせてくれる機会にも繋がりました。今後子どもたちの目線に立って遊びを充実させてく楽しさを保育士等も感じながら、子どもの興味関心を伸ばしていければと思います。



わかば組（1歳児） 2月6日（第12回目）3月14日（第13回目）

【活動内容】『水ってどんな音？』『水って膨らむの？』

12回目では、ライトテーブルの上に、水を入れたアクリルボックスを用意し、水の動きや音をプロジェクターに映した活動を行いました。

13回目では、ミラーマットの上に水を入れたアクリルボックスを置き、その中でタオルやスポンジを使用し、膨らんだり吸収したり様子を見ました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

・水・ライトテーブル・アクリルボックス・ジョウロ・食紅・プロジェクター・魚のソース入れ・みえるもん・吸収スポンジ・PVAクロス・圧縮タオル・絵の具・ミラーマット

【子ども達の姿と発見】

アクリルボックスに水を流したり自然物を固めた水を使ったりして活動を行いました。落ち葉や、木の枝等を入れた水は浮き、石や、砂を入れた水は沈んでいることに気が付く様子がありました。タオルやスポンジを使用し水が膨らむ、吸収される様子を観察しました。ミラーマットの上に水を入れたアクリルボックスを置き、その中でスポンジを動かしていると「鏡だ！」とスポンジが水を吸収し下の面が見えることに気が付き楽しんでいる姿も見られました。

【まとめ】一年を通して感じたことは、始めは水の動きなどに着目していた子どもたちが、水を使い寒天にすると重さが目に見えることや水の中に物を入れると、浮いたり沈んだりするに気が付くなど、水の変化を楽しんでいく姿が出てきました。また、その都度、環境を設定する中で保育士等が予想していた反応と子どもの反応は違うことや子ども達の発見に驚かされるのが何度もあり、自分の学びにも繋がりました。今後も、子どもたちの目線や“気づき”を大切に活動を広げていきたいと思っています。

